

2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロに挑戦します

- ・ 近年、地球温暖化による気候変動の影響により、これまでに経験したことのない異常気象が発生し、これに伴い深刻な自然災害が起こるなど、地球規模での温暖化対策が急務となっております。
- ・ 国においても、2020 年 10 月に温室効果ガスの排出量を 2050 年までに実質ゼロとし、脱炭素社会の実現を目指す「2050 年カーボンニュートラル宣言」の表明を行っており、令和 4 年 12 月末現在で 823 団体、道内では北海道及び 82 市町村が「2050 年二酸化炭素排出実質ゼロ」を宣言しております。
- ・ 当町におきましても、地球温暖化の問題に対し、そして、まちの普遍的財産である豊かな「水とみどり」を守り、郷土標津を未来の町民に誇りをもって引き継いでいくため、脱炭素を通じた取り組みが必要であると考えておりますことから、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを、令和 5 年 3 月 7 日の標津町議会第一回定例会にて宣言いたしました。
- ・ 今後の具体的な取り組みとしましては、「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、現在、国などが行っている地熱開発調査の支援の継続、昨年 9 月に制定しました条例による太陽光発電施設の適正な設置管理の推進、公共施設の照明 LED 化、近隣町や関係団体との連携による河川や森林環境の保全など、二酸化炭素の排出抑制と緩和策を積極的に進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。